



宮城教育大学附属小学校

学びを止めない

カリキュラム・マネジメント オンライン研修会

8月4日に実施した研修会には、130件を超える申込みをいただき、300名以上の方々に参加していただきました。ありがとうございました。

前回のオンライン研修会后に、お寄せいただいた感想をまとめました。

【感想】 ※お寄せいただいた文章をそのまま掲載しています。

奈須先生のお話を直接お聞きできる貴重な機会だった。

普段では聴くことのできないとても貴重なお話ありがとうございました。学習の文脈といった話や物事を別々に捉えず、カテゴリーを体系的にみることの重要性といった話はとても参考になりました。ありがとうございます。

講師の先生のお話が大変分かりやすく、多くの学びがありました。

主催校の先生方による進行やグループセッションでのファシリテーションも大変スムーズで、有意義な研修となりました。ありがとうございました。

奈須先生のご講演をオンラインで拝聴できるという本当に贅沢な時間でした。ありがとうございました。ブレイクアウトセッションで司会をして下さった先生方、お疲れさまでした。

その子のペース、その子の文脈で学びに向かえば、子供たちは非常に有能であるというお話、とても勉強になりました。貴重なお話、本当にありがとうございました。

自立して学ぶ子供に育てるために教師ができる工夫を知ることができました。学びの文脈が必要であること、子どもの中にそれを作るために、環境による教育や道具の整理、学校生活を左右する議論に子どもを交え一緒に考えるなど、様々なものがありました。塾講師のアルバイトをしている大学生ですが、そこでひとつでも試して、将来教壇に立った時に活かせるようにしていきたいです。ありがとうございました。

奈須先生のお話をもとに先生方との意見交流を行い、様々な知見に触れることができ学びの多い研修会でした。交流会では校種も学年も様々な先生方のお話を聞きそれぞれの特有の難しさや工夫を共有し、貴重な場となりました。

子どもをアクティブ・ラーナーに育てるために、各教科の領域の系統を把握したり、子どもが動き出したくなる環境整備や問いのたせ方、学びの文脈を大切にしたりするというお話が聞けて、大変参考になりました。

自分の普段の授業を振り返り、つながっている点や足りない点などを整理して今度の授業に生かしていきたいです。ありがとうございました。

大学3年生で、コロナ禍の子どもたちの実態が分からないのみならず、教育実習をまだ経験していなかったために今日の子どもたちの実態が把握できていなかったのですが、今夏の教育実習では今回ご講話いただいたような観点からも子どもたちを観察していきたいと思いました。

本日の研修会は非常に興味深い内容ばかりで、参加して良かったと思いました。環境作りによって、子供たちの発見や学びに繋がること、また学び続けるために教師が工夫を凝らすことの大切さを改めて実感しました。教育実習や将来の教員生活に活かし、子供の成長を共に感じられればと思いました。ありがとうございました。

今回、私たち自身も、未知なることへの対応として、新型コロナウイルス感染症における教育の在り方をとても考えさせられています。奈須先生の話聞いて、改めてピンチをチャンスに。ということと、見直すべきところはどこにあるのかということを考えていかなければいけないと感じました。今、必要な観点から話が聞けたことはとても貴重でした。

また、グループ討議も感想をはじめ、それぞれの話を聞くことができよかったです。

今回、接続面で問い合わせに対応していただき本当にありがとうございました。私たち、大人もICT機器に慣れていかなければいけないし、使いこなさなければいけないと感じました。貴重な研修会参加させていただき、ありがとうございました。

このような状況の中で、これから生きる子どもたちにどのような力が必要か、そしてどのように学んでいったらいいのか等、に対する見通しを持つことができました。普段の授業に生かすにはまだまだこちら側の見方、考え方の学びや工夫を重ねていかなければいけません、同僚の先生方や子どもたちとともに探求していきたいと思います。

本日は、どうもありがとうございました。追伸、メールでのやりとりについても丁寧に対応していただき、感謝申し上げます。

特別支援教育の事例もあり、児童生徒自身が学習内容を自分事として捉え、能動的に学習を進めるための教師の手立てが大切だと感じました。子どもの学習計画への参画という視点は大切だと思います。

オンラインだからこそ、普段聞くことのできない先生の講演も聞け、大変有意義でした。講師の奈須先生はもとより、このような場を設定して下さった宮城教育大学附属小学校の先生方にも感謝いたします。ありがとうございました。

奈須先生の歯切れのよいお話をお聞きしたくて申し込ませていただきました。コロナ禍だからこそやった方がよいこと、やれることなどのお話、参考になりました。私の所属は幼稚園ですが、幼稚園でもできることのヒントも教えていただいたので、取り組んでいきたいと思っています。このような研修会を企画いただき、ありがとうございました。

実践を基に、大変学びのある時間になりました。ありがとうございました。「学びの文脈」、これからの授業づくりで大切にしていきたいと思っています。

また、教科等横断的な視点、子どもの本格的な社会参画等々についても、ひとつひとつできることから始めていきたいと思っています。最後に、運営について、本校でも参考にさせていただきたいことがたくさんありました。ありがとうございました。

奈須先生がおっしゃるように、村度して授業に臨む子供を創り上げているのは教育です。子供の学びの筋に沿った流れに乗せられれば良いのもよく頭では理解できます。困ったときこそ、解決策を考えさせるチャンス！小1からできる、むしろ小1から必然的に解決したい課題を仕組み、より良くするための対話を積むことこそが本物の対話であり、深い学びにつながるのだと理解はしているつもりです。しかし「まずはなんでもみんなでやってみようよ。」とか「しつけの部分」としてのルールも押しつけてしまうのも事実です。意識改革、トランスフォームも自分の論と実践が結びつかないといけないと感じています。コロナか否か以前の本質的な部分ですね。

しかし「基礎に降りていく学び」「基礎から積み上げる学び」の対比で、バランスをとりながらいかに学びをつなげて質を高めていくかを実践しながら研究しているのだなと実感しました。そのために、義務教育の各教科の指導内容の系統を整理、その道具を使って子供自身が汎用性を広めていけるよう、ワークシートでの具体的な手立ても必要になりますね。目の前の子供が夢中になれる学びをめざしていきたいと思っています。ありがとうございました。

教科書の扱いについて、「すべてやらなくてもいいしすべてやればそれでいいわけでもない」という発言が新しい発見でした。昨年の実習では、教科書の文章や問いの意図を汲み取って、ページによって扱う深さには差をつけても、できるだけ教科書の通りに授業をしようとしていました。ただ、同じような問題が多いことには少し疑問を持っていました。今回の研修で「飛ばしていい内容もある」とおっしゃっていて、少し気が楽になったように感じます。今後似たような問題の扱いについて考えるとともに、生徒自身が類比的な問題を作成することでどのくらい考えや理解が深まるかを調べてみたいと思いました。

気になっていたことがいろいろと分かりました。貴重な研修の機会を与您いただきありがとうございました。

学校として参加させていただきました。できれば各個人ごとにつなげられるとよかったのですが、学校としての制約があり、今回の形での参加となりました。

子供の文脈を大切に、見通しが立っていれば子供はみな優秀…。まさにその通りだと改めて思いました。これまでは教師が自分の文脈で何をどのように指導するかを研究することが多かったわけですが、ぜひ宮城の教育をリードする附属校園の先生方には奈須先生のおっしゃる子供の学び、教師の在り方を範となつて示していただけるとありがたいです。そのためにはそれを実現しやすい総合的な学習の時間がまず充実し、その学び方が子供たちに浸透し、教科学習も変わっていく、という流れになるのでしょうか。附属校園の公開研究会でそのような学び、子供の姿が見られることを楽しみにしています。

コロナだからということではなく、学習指導要領の改訂に合わせて改めて日常の学習指導を子供の視点で見つめ直すことが必要であると実感しました。

行事の精選による時数の確保だけ考えていたが、コロナ禍だからこそ、発想の転換が必要なことが分かりました。

忙しい中、研修の場を提供していただきありがとうございました。ピンチはチャンスで、学びについての捉え方について変えていくチャンスと改めて思いました。これからも四校園でよい取組を共有して、ますます発展していければと思います。

奈須先生の「文脈」のお話が大変興味深かった。また、ズームによるブレイクセッションは、初めてだったが、全国の先生方とお話できる機会として、とても良かった。今日は、ありがとうございました。

研修会を企画していただき、ありがとうございました。奈須先生の御講演からは、子どもの質の高い学びには教員の教育観の更新が必要で、コロナ禍でそれがより高まっていると感じました。また、ブレイクアウトセッションでは、少人数で意見交換ができ、リフレクションをすることができました。貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

子どもの文脈にそった学習を構成する原理・原則を、実践事例をもとに示す、示唆に富むお話を奈須先生からうかがい、進むべき道が見えた。他力本願ではなく、自律・自律する「個」の確立の必要性を再認識した。

自宅から奈須先生の話聞いたこと。そして、ポストコロナということでピンチをチャンスに変える前向きになれる会だったので良かったです。少しでしたが交流できたことも良かったです。勉強になりました。ありがとうございました。

大変勉強になりました。このような機会を設けていただきありがとうございました。昨今の新型コロナウイルス感染症の影響に伴う学校の変革とは、「個別最適化」にしる「単元指導案における教材の構造化」にしる、従来から求められていることが多いのだと気づかされました。また、生活・総合学習においては、「できない」となりがちな現状に対して、逆に現在ほど必要とされているときはないという指摘に強く同感いたしました。仕事の都合でグループディスカッションに参加できず失礼いたしました。

奈須先生の講演は具体例を交えてわかりやすく、示唆に富んだものでした。これからの教育、ウイズコロナ、ポストコロナにおいて一層（これまでも大切でしたが、なかなか浸透していない現実がある）個々の学びの充実（メタ認知し自ら学びを進めていく）、かかわることによる相互の成長・集団の育成が大切と感じました。

奈須先生の話をはじめ、グループでの話し合いもとても充実した時間を過ごすことができました。これから自分に必要な研修のビジョンも再考することができました。ありがとうございました。

限られた時間の中で、どのように子どもの学習を進めて行くかのヒントをいただきました。充実した研修でした。参加させていただき、ありがとうございました。宮城教育大附属の先生方の姿勢を参考に、これからもがんばっていきたいと思いました。

奈須先生の御講演とブレイクアウトセッションでの交流を通して、主催者・参加者ともにカリキュラム・マネジメントに関する学びが深まったのだと思います。

コロナ禍の中ですが、それぞれが教育活動の目的を明確に捉え、子供一人一人の変容・成長を目指して頑張っていきたいと思います。



【今後の本校の発信にも関心をお寄せください】



【貴重なお話をお聞かせいただいた奈須先生
ありがとうございました】